

しよよ

9月定例会

ひと・まち・自然が^{くに}出会う三彩の郷



- (特集) 学校給食センター建設 ②
- 常任委員会報告 ④
- 一般質問 (6人が市政を問う) ⑥
- (新企画) きらきら・人 い〜よ ⑫

平成26年9月28日 南山崎コミュニティ大運動会

設事業費 23億2600万円

【センター施設の概要】

- 1 センター本体
 - ・構造 鉄骨造2階建て
 - ・面積 1階 約2,255㎡ 2階 約668㎡ 合計 約2,923㎡
- 2 附属施設（車庫・倉庫・ポンプ室等）
- 3 1日あたりの給食数 約3,200食



伊予市学校給食センター完成予想図

これまでの経緯

現在、単独調理場5施設と給食センター2施設で給食運営を行っています。しかし、どの施設も老朽化が著しく、また、厳しさを増す国の安全基準に対応することが困難な状況にあります。

このため、伊予市学校給食検討委員会の答申に基づき、学校給食センター整備事業を急務としていましたが、平成25年度に地元関係者及び土地所有者にご理解とご協力をいただくことができ、今年7月から土地造成工事に着手しました。

今後のスケジュール

■施設整備関係

平成26年9月議会にセンター新築工事、厨房機器購入費、各学校配膳室改修工事および各工事の監理業務費にかかる継続費（平成26年度から28年度の3カ年）として、総額23億2600万の予算が計上されました。各工事の予定は次のとおりです。

●センター新築工事（厨房機器を含む）

平成27年1月に着工し、12月の完成予定

●各学校配膳室改修工事

平成27・28年度に順次、着工・完成する予定

■運用関係

運用方針の策定および学校関係者等への周知等、調理従事者の研修等を平成28年8月までに実施する予定です。

伊予市学校給食センター建

給食センター Q&A

Q 供用・給食開始時期は？
 A 平成28年9月（2学期）の予定です。

Q 建設場所は？
 A 本市のほぼ中心に位置している大平地区（南山崎小学校の南側）としました。

Q センター化の利点は？
 A 国の衛生管理基準に基づいた施設とし、徹底した衛生管理を行うことができます。

A アレルギー食対応調理場を設置し、専属の管理栄養士と給食調理員を配置することにより、調理過程におけるアレルギー（※）の混入について、管理体制を強化することができます。
※アレルギー：アレルギー症状を引き起こす原因となるもの

A 食材等の一括入札によりコストを削減することができます。

Q 食材（地産地消）は？
 A 伊予市食育推進計画の目標値30%以上（品数）を目指して取り組んでいきます。また、子どもたちと生産者等の交流を検討していきます。

Q その他の機能は？
 A 防災拠点機能として、非常用発電機と燃料地下タンクを設置し、非常時に炊飯ラインを稼働します。

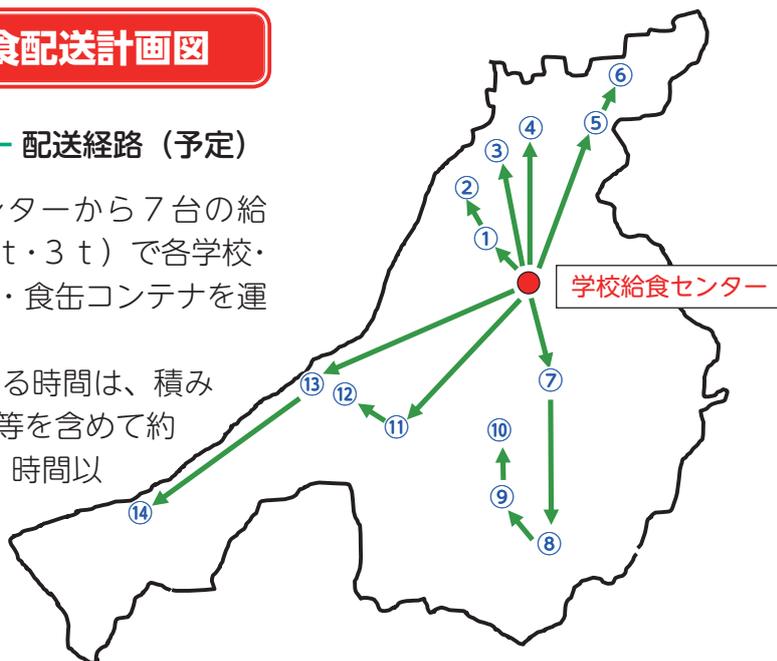


学校給食配送計画図

——— 配送経路（予定）

学校給食センターから7台の給食配送車（2t・3t）で各学校・幼稚園に食器・食缶コンテナを運ぶ計画です。

※ 配送にかかる時間は、積み下ろし作業等を含めて約40分から1時間以内となる予定です。



【学校等の名称】

- ①南山崎小学校
- ②北山崎小学校
- ③港南中学校
- ④郡中小学校
- ⑤伊予中学校
- ⑥伊予小学校
- ⑦佐礼谷小学校
- ⑧中山幼稚園
- ⑨中山小学校
- ⑩中山中学校
- ⑪翠小学校
- ⑫双海中学校
- ⑬由並小学校
- ⑭下灘小学校

委員会報告

各常任委員会で審議した主な条例・予算等の概要を報告します。

総務委員会

伊予市消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例

問

今回の報酬改定の目的と支給方法が2回に変更になった経緯は。

答

危機管理課

昨年12月に施行された法律の中で、団員の処遇改善等が求められていることや、県下で報酬や手当が下位にある状況を踏まえたものである。

支給方法については、現行の年1回12月支給では、その後1月や2月に退団した場合に返納が必要となる。

また、年度途中での入団もあるため、月割りの導入や事務処理上の問題点の解消を踏まえて改正した。



消防出初式の様子(平成26年1月)

第10分団第1部(下浜)消防団詰所新築工事

問

建設予定地が海に非常に近く、地震の際に津波による被害の可能性もあるため、せめて海水の浸入を防止する壁等を設置しては。

答

危機管理課

現在の工事請負費の中で入札減少金が出た場合、設計を変更するか、別工事として発注するかは分からないが、対応可能であれば実施したい。

マイナンバー制度

問

国民総背番号制度の基で、市民のいろいろな秘密やプライバシーがしっかりと確保できるのか。また、目的外使用されないための防止策は。

答

総務企画課

マイナンバー制度は、どこかの機関や組織がデータを一元的に管理・統合して使用するものでなく、各団体において個別に管理するものである。また、法律で使用できる業務が定められているほか、個人情報保護のさまざまな規制等もあり、万一、目的外使用等した場合には、罰則規定が適用されることになる。



民生文教委員会

水痘(※)ワクチン等予防接種委託料

問

水痘及び高齢者肺炎球菌の接種対象者と接種者の見込みは。

答

健康増進課

水痘の対象者は、1歳児から5歳児未満の合計1179人で、接種者の見込みは、1、2歳児で罹患(※)者以外の9割程度、3、4歳児で罹患者及び既接種者以外の5割程度の合計822人を予定している。高齢者肺炎球菌の対象者は、今年度から5年間に限り、65歳から5歳刻みの年齢層等の合計2804人で、接種見込みは、6割程度の1696人を予定している。

※水痘(すいとう)

「みずぼうそう」とも呼ばれる

※罹患(りかん) 病気になること



伊予市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

問

施設型給付と地域型保育給付に移行する本市の対象施設は。

答

子育て支援課

施設型給付については、公立、私立の保育所と幼稚園が該当するが、私立幼稚園は、施設型給付へ

の移行と現行通りの運営を選択することができる。地域型保育給付については、現在対象となる施設はない。

問

新制度への移行の期限と新制度に移行しない場合の財政措置は。

答

子育て支援課

新制度への移行時期は、27年度に限らず、いつでも可能で、新制度に移行しない場合の運営等に対しても従来通りの補助等がある。

給食センター建設

問

整備事業の進捗状況は。また、給食調理員、栄養士等は何人の予定か。

答

学校教育課

造成工事は約30%の進捗率で、平成26年12月の完成後に、引き続き建物

新築工事に着工する予定であり、今のところ全体計画に遅れはない。

調理員については、本市の給食数や他市の状況を勘案し、30人程度の配置を検討している。

栄養士等については、県の栄養教諭のほか、アレルギー食対応のために、市の管理栄養士を1人配置する計画である。



給食センター建設予定地(南山崎小南側)

問

インター入口交差点に信号機を設置する場合、国道56号線手前双海町入口に丁字路の信号が現在あるが、この信号はどのような設計になるのか。

答

土木管理課

現在、国道入口の信号機は県道を通行する車両の感知式信号機を設置している。

インターチェンジの交差点計画は、県警と協議中であり、新規の信号機は感知式ではなく、時間式の連動した信号機を設置する計画である。

問

ふたみ基幹集落センター解体工事

センターを取り壊したあとの跡地利用は。

答

農林水産課

取り壊しの経緯について

では、庁舎の有効利用検討委員会や双海地区の広報区長会において協議され、結論に至ったと聞いている。

なお、取り壊し等については、平成22年3月議会提出の伊予市総合計画実施計画に掲載し、新しい建物の建設はしないことと承認を得ている。跡地利用については、将来起こり得る南海トラフ巨大地震等の災害発生時の避難場所や駐車場として利用を考えている。



取り壊し予定の基幹集落センター(双海町上灘)

6人が市政を問う

「一般質問」とは、行財政全般にわたる議員主導の政策の議論です。



平岡 清樹 議員

職員意識改革とマ
ネジメント能力の強
化

問

部課長をはじめとする
職員の意識改革をどう進
めているのか。また、接
遇研修等の年間回数は。

答 市長

意識改革については、
平成18年3月に人材育成
基本方針を策定し、本市
が求める新しい職員像と
これからの組織運営の理
念の方向性を示した。
昨年度の研修実績は、
庁内実施分では、年4回
開催の述べ321人が参
加し、県への派遣型研修
では8人が参加した。

問

研修後の改善報告や外
部評価が大事だが、市民
目線での実態調査を実施
し、調査結果を賞与や表
彰等に反映させては。

答 市長

各研修の成果は、人事
評価として昇格を初め勤
勉手当の成績率に反映し
ている。さらに専門研修
成績優秀者、職員提案制
度優秀者への表彰及び報
奨の規程も設けている。
接遇改善対策は、市民
からの直接の苦情や目安
箱等の意見を踏まえ、新
たなサービス提供の検討
につなげている。

問

管理職から率先して、
民間企業や自衛隊へ職場
体験をしては。

答 市長

現在、金融機関や大規
模小売店業界への職場体

験、接遇指導等の業務協
力に向け交渉中である。

問

市民満足度調査に職員
の職務姿勢や接遇に関す
る項目を追加しては。

答 市長

来年度実施の調査項目
への追加について、前向
きに検討を進めたい。

しおさい公園
ウォーキングコース

問

夜間に女性でも安心し
て利用できるウォーキン
グやジョギングコースの
整備と利用促進の啓発を。

答 産業建設部長

夜間照明については、
現場を確認し、球切れや
樹木の枝による遮蔽等は
直ちに改善策を指示した。
現在は、公園管理上必
要最小限の照度しか確保
しておらず、女性が安心



しおさい公園内にある夜間照明

できる程度の照度を確保
するには装置の抜本的な
配置計画が必要である。
当面、可能なものは水銀
灯をLED化し、増設が
必要な場合は計画的に予
算措置を講じたい。
利用促進については、
広報紙やホームページを
通じて啓発し、関連する
イベントなどの開催も企
画したい。

その他の質問事項

● 公共施設・遊休地の効
率的な有効活用で税収
アップを

● 旧中山高校跡地へ民間
企業の誘致を

一般質問

質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、伊予市ホームページ（<http://www.city.iyo.lg.jp>）の会議録検索システムをご覧ください。（12月上旬発行予定）



高田 浩司 議員

本市のグループホームと介護保険事業

問

市内のグループホームへの入居状況と待機者解消策は。

答

市民福祉部長

市内には9つのグループホームがあり、定員が各18人、全体で162人を受け入れられる体制になっているが、各施設、ほぼ満室状態で待機者は7月末現在61人である。待機者解消には、施設整備が有効な方法であるが、保険料に大きな影響を及ぼすことから、慎重に検討を進めたい。

問

第6期介護保険事業における本市の考え方は。

答

市長

国から介護保険事業に係る基本的な指針により事業計画策定時のポイントが示されており、本市の策定審議会においても、これらを念頭に置いた計画の審議が行われている。いずれにしても、高齢者の方が住みなれた伊予市で、自分らしい生活を最後まで続けることができる体制づくりの構築を目指し、さまざまな施策を推進する必要がある。



生活保護受給者の現状

問

生活保護受給者の現状と生活保護率の比較は。

答

市民福祉部長

平成26年7月末現在の生活保護世帯は225世帯、被保護者は313人であり、昨年度の年間支給総額は4億4657万円である。県全体の保護率が15・9%（※）、松山市が24・71%、東温市が7・01%、本市が8・5%であり、県内11市で6番目の保護率である。
※%（パーミル）
1000分の1を1とする単位

問

本市における不正受給件数と防止対策は。

答

市民福祉部長

平成24年度は11件、平成25年度は16件で、稼働収入の過少申告等や各種

年金、手当等の無申告によるものである。

対策として、今年度から受給者に正確な収入申告義務の認識づけと、収入申告確認書の提出をお願いしている。また、就労者や年金、手当等受給者には、定期的な収入申告書の提出や家庭訪問等を行い、不正受給の予防と早期発見に努めている。

問

自立支援策は。

答

市民福祉部長

就労による自立が見込まれる方には、保護脱却を目指す自立支援プログラムによる集中的な就労支援を実施している。積極的に就労活動に取り組んでいる方には、資格取得費などの支給等や専従の支援員を配置して就労に向けた適切なサポート等を行っている。

その他の質問事項

認知症について

ココが聞きたい



大野 鎮司 議員

防災力のアップで
安心安全な伊予市を

問

消火栓を活用した応急
給水訓練を実施しては。

答

総務部長

災害発生後において、
飲料水の確保は極めて重
要なポイントになる。
現在、消防団を中心に
消火訓練は継続して実施
しているが、給水訓練に
ついては実施していない。
今後は、災害後に給水
機能が残った施設を想定
したスタンドパイプなど
の応急給水用資機材の導
入やこれらを活用した訓
練を取り入れたい。

問

避難所の非常食として、
アレルギー対応の「救給
カレー」導入を。

答

総務部長

今後、アレルギー用食
品の備蓄は、関係機関と
連携を図りながら推進の
方向で検討を加えたい。

問

鳥の木12区に消火栓の
設置を。

答

総務部長

開発行為における消防
水利の同意事項には、半
径120m以内に水利が
必要となっている。
現在、12区は鳥ノ木団
地やウエルピア伊予等の
水利から半径120m以
内に包含されるため、消
火栓は設置されていない。
ただ、消防署では、毎
年市内全域を対象に水利
調査を行っており、当該
区から要望書の提出があ



地下式消火栓 (伊予市下吾川)

れば、検討を加えること
は可能である。

高齢者が安心して暮ら
せるまちへ

問

防災無線放送の内容を
フリーダイヤルで再確認
ができるように、番号を
ステッカー状にして全戸
配布しては。

答

総務部長

本市では、防災無線の
内容を再確認できるよう
に電話応答装置を設置し
ており、その番号にかけ
れば、直前の放送内容が
確認できる。

問

今後、チラシ等の全戸
配布を検討し周知を図り
たい。
認知症の方の火災予防
のため、IHフッキング
ヒーターの設置補助を。

答

市民福祉部長

県内では、高齢者施策
の一環で2市が給付を
行っているが、実績は少
ないようである。しかし、
認知症の方の火災予防に
電磁調理器への切りかえ
は有効な方法であるので、
市の財政負担、高齢者福
祉施策としての有効性な
ども含め調査研究したい。
その他の質問事項
●中山、双海地域の子ど
もの保育料を無料化に
●第三子の保育料の軽減
化を
●子育て世代の定住促進
のため、通勤時、ス
マートIC利用補助や
市営団地など居住費の
補助を

一般質問

質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、伊予市ホームページ（<http://www.city.iyo.lg.jp>）の会議録検索システムをご覧ください。（12月上旬発行予定）



水田 恒二 議員

「建国記念の日」奉祝大会に関連して

問

市内小中学校の生徒に同会の案内チラシを持ち帰らせたと聞くが、教育者として問題はないか。また、市や教育委員会の後援に問題はないか。

答 市長

本市では、平成24・25年度に奉祝県実行委員会からの後援名義使用許可申請に対し、その内容を確認する限り政治的または宗教的活動に当たらないと判断し、使用を許可した。しかし、後援許可した事業内容に政治的、宗教的活動の疑いがある

ことが判明したので、今後同団体から同じ事業について申請があった場合は承認する予定はない。また、ほかの団体から類似の申請があった場合は、慎重かつ適正な審査に努め、後援することが公益上問題ないか判断したい。

答 教育長

学校へのチラシの配布は、検討・協議した結果、政治的、宗教的活動ではないとは明確に判断できない案件であり、中立を求められる教育委員会として適切でなかったと現在は認識している。今後、チラシ配布については、取り扱いの基準を定めて適正な実施に努めたい。

問

新規公共施設の建築に関連して

文化ホール等の建築と前後して、郵便局の移転

が予想されるが、特定郵便局程度の機能を施設に取り込んではどうか。

答 総務部長

現在、郵便局から要望はなく、その主な理由が維持管理に要する費用ということであるが、今後再度、意向確認をしたい。



移転検討中の伊予郵便局（伊予市米湊）

問

花壇の管理等を個人・団体に任せてはどうか。

答 総務部長

現在は、伊予農高から草花の苗を購入し、生徒

や市職員のボランティアで管理等をしている。

高木等の剪定はシルバー人材センターに委託しており、今後建設される施設でも同センターへ委託する予定である。

花壇については、他の市施設もあわせ、市民と協働できる仕組みをつくり愛着の持てる施設となるよう検討したい。

問

障害者用駐車場と受付案内係を結ぶインターホンを設置してはどうか。

答 総務部長

車椅子等を使用する来客者のサービス向上に有効であるので、いかなる方策が効果的か他事例等の調査を行い決定したい。

その他の質問事項

- 愛媛新聞のアンケート
- AEDの適正管理
- ため池崩壊やがけ崩れ対策工事

こころが聞きたい



日野 健 議員

本市の農業振興

問 担い手対策は。

答 産業建設部長

人・農地プランで構築された枠組みを基本とし、国の対策に沿った取り組みを引き続き実施する。また、農業振興センターの各関係機関と連携し、就農相談や情報提供等を積極的に推進する。

問 農業・農村の多面的機能の維持と発揮は。

答 産業建設部長

国は、地域の農業者による共同活動を実施する

協定という新たな枠組みを構築するため交付金等による施策を展開している。本市も、この共同活動を積極的に実施しており、現在は127の協定数にまで到達している。

問

中山間地域における小規模農業の基盤整備に取り組んでは。

答 産業建設部長

中山間地域では、平坦地と比べて受益者負担金が高額なこと、地元の要望がないこと等の理由で、合併後は圃場整備事業を実施していない。今後、国の施策等を有機的に活用し、最も有効と考えられる整備手法を長期的視野と個別対応をもって取り組んでいく。

問

中山間地域における畦畔管理の助成制度は。

答 産業建設部長

中山間地域における国の交付金制度は最も重要とされており、軽量機器の購入や作業の委託も可能とされるなど個別案件として自由度の高い施策となっている。

問

安全対策「ゾーン30」事業内容は。

答 総務部長

ゾーン30は、警察庁が推進を図り、全国で計画的に整備を進めているもので、伊予署管内で初めて整備を行うものである。内容は、生活道路における歩行者等の安全通行を確保するため、一定の区域を定め、時速30kmの速度規制を実施するとともに、市と連携した他の安全対策を必要に応じて行うものである。

問

ゾーン30による上野地区の安全対策は。

答 総務部長

ゾーン内に減速や通学路の路面標示等、また交差点や学校付近の路側部にカラー塗装を計画している。伊予署では、速度規制標識の設置やゾーン入口にゾーンマークの路面標示を計画している。



ゾーン30 (路面標示のイメージ)

その他の質問事項

- 市街地の活性化
- 教育問題
- 自転車交通の安全対策
- 上野地区公民館の名称

一般質問

質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、伊予市ホームページ（<http://www.city.iyo.lg.jp>）の会議録検索システムをご覧ください。（12月上旬発行予定）



門田 裕一 議員

本市の危機管理体制

問

リスクマネジメントの考え方と体制は。

答 副市長

本市においても、社会が多様化、複雑化する中で従来考えもしない危険が発生しており、市民の生命や身体等に重大な影響を及ぼす危機を未然に防止し、発生した場合に被害を最小限に食い止める仕組みを確立する必要がある。現在、準備会を立ち上げており、危機管理マニュアル等を策定し、組織を挙げて総合的な危機管理対策の強化を図る。また、職員一人ひとり

が強い危機管理意識を持って職務に臨むような体質に改善をしたい。

問

危機管理に優れた人材が必要では。

答 総務部長

南海トラフ巨大地震等に対する備えの必要性が急速に高まっている今、迅速、的確な危機管理対応を遂行するための知識と技能を有し、平時から被害発生の際に努めることができる人材の必要性を認識している。

問

今後の危機管理体制及び人員配分の中でどうすべきか多面的に検討する。

今後、危機管理体制及び人員配分の中でどうすべきか多面的に検討する。

教育の情報化ビジョン

問

本市における取り組みと現状は。

答 教育委員会事務局長

平成21年度に国の委託

事業で23台の電子黒板を整備した。

また、補助事業で全学級へのデジタルテレビの整備等を行い、その後、電子黒板及びデジタルテレビを授業に活用するため、各教室へパソコンを整備し、デジタル教材等の活用ができる環境整備を進めている。

また、補助事業で全学級へのデジタルテレビの整備等を行い、その後、電子黒板及びデジタルテレビを授業に活用するため、各教室へパソコンを整備し、デジタル教材等の活用ができる環境整備を進めている。

また、補助事業で全学級へのデジタルテレビの整備等を行い、その後、電子黒板及びデジタルテレビを授業に活用するため、各教室へパソコンを整備し、デジタル教材等の活用ができる環境整備を進めている。

また、補助事業で全学級へのデジタルテレビの整備等を行い、その後、電子黒板及びデジタルテレビを授業に活用するため、各教室へパソコンを整備し、デジタル教材等の活用ができる環境整備を進めている。

問

タブレットを用いた学習の取り組みを。

答 教育委員会事務局長

現在、子供の情報活用能力の育成という観点から、全学校にパソコン教室を設置して対応しているため、今後の課題としたい。

問

ICT（※）教育のサポート体制を。

答 教育委員会事務局長

毎年、県で教員のICT

IT活用能力の向上を目的に各種の講座が開設されており、本市の教員にもさらに積極的な参加を促し、能力の向上を図りたい。また、各学校では、全体として教育のICT活用能力の向上に努めており、現場の意見も取り入れながら推進したい。

※ICT
情報・通信に関する技術の総称



港南中学校に設置している電子黒板

その他の質問事項

- ビッグデータ・オープンデータの活用推進
- 地方分権改革の推進
- 社会を生き抜く力の養成

『絵本に思いを のせて』



●**絵本を描くきっかけ**
絵本のイラストを描いてほしいとお話を代表からいただきました。

最初は好奇心や楽しさの一つでしたが、お話をいただいた方の想いを聞かせていただくうちに、これは遊び半分ではないかなと思います。また、ゾウさんを実際に見た、環境などを知るうち



なかがみ けいこ
第1回 仲神 圭子さん

に、ぜひとも描かせていただきたいと思いました。

●**一番この絵本で苦労されたところは**

アフリカゾウの家族に会ったことがない人にもこの家族を理解してくれることを一番に考えた時にせ物を描くわけにはいかないと思いました。

ですので、締切まで時間がながい中でも、家事の合間に動物園に通って、ゾウさん一頭一頭を見ながら、このゾウさんはこういう感情の起伏のときに、こんな表情をする

んだとか、そういったところを理解して描いていくことが一番大変でした。

●**絵本を手にしていただきたい方は**

最初のきっかけは、子どもたちに、動物にも人間と同じような気持ちがあるんだよと。言葉が通じない相手に対しても痛みがわかる思いやりのある子どもに育ってほしいとの思いでしたが、私たち世代でも家族の在り方とか大切さを学べる絵本になっていと思っています。

■プロフィール

伊予市上三谷在住、主婦

2014年5月、市民グループかぐや媛が「ボクたちは家族Ⅱ」という、とべ動物園で暮らすアフリカゾウの家族を描いた絵本の続編を出版しました。その絵本の製作スタッフとして、イラストを担当。

●夢は

夢はたくさんあります。自分はできることで誰かのためになればとの思いが一番にあります。いつまでも素直さと好奇心だけは絶対失いたくない、永遠に新鮮な自分です。



パステルを使って描かれた絵本のイラスト

編集後記

秋も深まり、朝夕めっきり冷え込む季節となりました。今回の特集ページでは、平成28年に供用開始予定の学校給食センターを分かりやすく解説しております。ぜひ、ご覧ください。

また、今回から新しい試みとして、裏表紙に「きらきら・人い〜よ」がスタートしました。伊予市にお住まいで、特色のある活動等をされている方など、順次掲載してまいります。ご紹介お待ちしております。

今後より一層、市民の皆様に関心しやすい議会だよりとなるよう、委員一同努力してまいります。

文責 大野 鎮 司

議会広報調査特別委員会

- 委員長 門田 裕一
- 副委員長 日野 猛仁
- 委員 平岡 清樹
- 委員 三好 正樹
- 委員 大野 鎮司
- 委員 高田 浩司
- 委員 正岡 博